

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	ニチイキッズ葛飾にいじゅく保育園
施設所在地	葛飾区新宿6-2-18シティテラス金町E棟1階
法人名	株式会社ニチイ学館

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然【いちご狩り】

<テーマの設定理由>

低年齢児でも感じる事が出来る五感をテーマにして、全園児が経験できることを優先にして活動を絞り込んだ。年齢に合わせた環境を設定し子どもたちの疑問や探求に合わせて活動を発展させ、年間を通して異年齢での感じ方や表現の違いを保育者も探求していく事を楽しんでいく。

### 2. 活動スケジュール

1、いちごは冬野菜？

2、少人数での探求活動（事前探求）

図鑑で調べる、いちごの葉や花を調べる・赤くなるまでの成長段階を調べる  
甘い酸っぱいの違い・「どうして赤くなる？」「大きさは？」

3、探求発表

4、体験（いちご狩り）

いちごの花や葉の観察・赤くなったいちごと白いイチゴの味の違い・自分で収穫して食べる。

5、実体験を通しての気づきや探求

6、振り返り

絵を描く・事前探求と実体験後の気づきや感想

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

【素材・道具】

図鑑・写真・野菜カード・動画・いちごの木搬入

【環境設定】

- ・子どもがいちごをよく観察できるように、手の届く高さの場所で収穫体験ができるようにする。
- ・いちごの花・葉・実の様子がわかる写真や図鑑を用意し、興味が持てるようにする。
- ・子どもが自分で赤いいちごを探し、触れたり匂いを感じたり出来る時間と空間を確保する。
- ・収穫後に感じたことを話したり、絵に描いたり出来るコーナー作りを設ける。
- ・安全に活動出来るよう、動線や人数配置を考え保育者が見守れる環境を整える。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【いちごの色や形を知る】いちごが果物なのか？野菜なのかの疑問を探究する。またいちごの色が成長するにつれ色が変わること、いちごの表面につぶつぶがあることなど事前探究時の写真や動画を見て探究する。

【いちご狩り前の事前説明】いちごの狩り方や扱い方を知る。写真を見ながら説明をうけ「ハチが花粉を運ぶ」とい話からいちごの成り立ちを知る。

【いちご狩り実体験】実際にいちごを収穫し、手に取り匂いや感触を感じる。

【体験後の感想発表会】少人数のグループごとに感じたことや驚きや発見を話し合った後に皆の前で発表する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「大きいいちご、いい匂い」「白いのは赤ちゃん、赤いいちご食べよ」「お母さんのためにたくさんいちご取ろう」「お花がついているいちごがあるよ、あたりだね」等、子どもたちは匂いや形、色など様々な視点からいちごを観察し、驚きと発見を楽しんでいた。また、いちごが成熟する前の違いや甘いいちごと酸っぱいいちごを見極めながら、いちごを選んでいる姿や真剣な表情で参加している姿が印象的であった。子どもたちも自然に事前に探求したチームで集まり、実体験を通して事前学習とは違ういちごのつぶつぶの量や色、甘いにおいや感触を思う存分感じていたように思う。



### 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

いちご狩りのポスターを見た時から、楽しみにしていた子どもたちの姿が見られ、コミュニケーションが広がり興味関心につながったのを感じた。また、翌日には「朝もいちご食べたよ」と自分の採ったいちごの味の比較もおこなっていた。実体験が様々な方向に興味広がっているのを感じた。自分でいちごを採取しているときには「お兄ちゃんにあげるの」等他者を思いやりながら収穫する大切さが育まれているのだなと感じた。いちご狩り前に導入として絵本や図鑑で探求した結果あえて白いいちごを選んで食べる姿があり、「酸っぱいけど美味しいよ」と事前の想像から実体験につながる瞬間があり、実践して感じる五感の刺激につながるのだなと感じた。見て学ぶのではなく、収穫し食して学ぶことの大切さを実感した。